

ジャンル	子ども・教育 日本語学習 医療・福祉 労働 災害対策 意識啓発 地域づくり 推進体制の整備 その他
事業名	災害時における多言語情報提供拡充事業～HPからの情報発信～
団体名	公益財団法人福島県国際交流協会

***** 事業のポイント *****

- ・ 平時・非常時用トップページレイアウトの構築及び携帯サイトの導入
- ・ 災害時に迅速に情報を発信できるようCMS（コンテンツマネジメントシステム）を利用し、簡単な編集で最新情報を伝えられるニュース画面を構築

助成年度	平成 24 年度地域国際化施策支援特別対策事業	事業総額	1, 200千円
------	-------------------------	------	----------

事業の内容、成果等

1. 背景

地域のグローバル化が進展し、外国出身者の定住化が進行している中、今回の東日本大震災が発生し、当協会では外国出身県民に対し、県災害対策本部から発信される情報を英語、中国語に翻訳して当協会ホームページ上で発信してきた。しかしながら、多言語化は英語と中国語のみで、しかも情報は整理せず羅列しているだけであったことから、外国出身県民等が欲しい情報を即座に、かつ簡単に探せなかったという現状があった。

一方、震災からある程度の時間が経過してもなお震災当時の福島県のイメージが根強く残り、県外海外に避難している外国出身県民等が福島県に戻ることにためらいを感じていたことから、今の福島の日常生活や被災状況を県外海外に発信し、風評を最小限に抑え福島県への帰還を促進する必要がある。

2. 目的

当協会のホームページのコンテンツの再編成など改善を施し、多言語で簡単に必要な情報が入手できるホームページに再構築することで今後の震災に備えるとともに、震災後も福島県に留まることを選択した、及び福島県から避難していった外国出身県民に対し、日々刻々と変わる環境放射能測定値など様々な災害関連情報を多言語で逐次発信し、さらには福島の今の普通の暮らしを多言語で随時発信することで、福島県での安全・安心な生活の支援と福島県への帰還を促進し、福島県の一日も早い復興に寄与する。

3. 内容

○非常時対応の充実化

- ・ 非常時専用ページを別途作成し、非常時には迅速にそのページに移行できるようにした。



平時のトップページ



非常時のトップページ

- ・ 携帯電話でも見られるようモバイルサイトを導入した。

○多言語での情報発信の充実化

- ・本県の外国出身県民等の出身国と使用言語の実態に応じ、英語と中国語のページを充実させ、その他の言語としてタガログ語、ポルトガル語及び韓国朝鮮語のページを再作成した。

○最新の情報発信の充実化

- ・トップページに日々変化する環境放射能測定値の項目を置き、毎日1回更新情報を掲載するようにした。
- ・トップページに福島の今の状況を伝える「がんばろう福島」のニュースを置き、ブログ形式で月5～6回掲載するようにした。

4. 工夫した点、苦勞した点

- ・ページ作成において、検索時に想定されるキーワードを埋め込む記述をすることで、必要な情報を即時かつ容易に取り出せるようにした。
- ・コンテンツについては、日本語のページの中で外国出身者が必要な情報だけを固定型情報として抽出し再構築するとともに、日本語コンテンツと連動したものとすることで統一感を演出した。



英語のトップページ



中国語のトップページ

- ・CMS (コンテンツマネジメントシステム) を利用し、簡単な編集で最新情報を伝えられるニュース画面を構築した。
- ・トップページに、「東日本大震災関連情報」、震災復興版ジャイロ「がんばろう福島」及び「外国人向け防災情報」の枠を新設し、情報をすぐに取り出せるようにした。

5. 成果

- ・リニューアル (平成 24 年 10 月) の結果、日本語及び、英語、中国語のページアクセス数が増えた。



6. 課題

- ・防災・災害に関わる情報をカテゴリー別にするなどして見やすさを向上させ、また各言語のホームページの目につくところに「災害に備えるために」のコーナーを設置し事前の備えについての周知を図りたい。
- ・現在当協会からの一方の情報発信がほとんどであることから、今後は、外国出身県民等からの投稿記事の掲載の充実など読者からも発信する双方向のホームページとなるように工夫していきたい。